

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	藤結びの会
支援対象者・エリア	陸前高田市内の被災者の方々
企画開催地	陸前高田市
企画名称	陸前高田の方たちを応援する、交流会などのイベント活動
実施期間	2019年5月16日～18日、2019年8月29日～31日、2019年12月5日～7日の3回

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

私たちは震災後、陸前高田で主に仮設住宅の方々のコミュニティ作りのお手伝いを目的に訪問する活動に参加してきたメンバーが主です。最初のグループは活動を終了しましたが、その中で、さらに継続する必要を感じた人たちが、2015年に「藤結びの会」という新しい会を立ち上げ、年に数回陸前高田市を訪問しイベントなどをしながら現在に至っています。継続と言っても、時間の経過とともに、被災地で必要とされるることは変化していき、私たちの活動の内容も変わってきています。

仮設住宅の方々は、それぞれ家を建てたり、復興集合住宅に入られたりして、現在でも継続して訪問しているのは、復興集合住宅に入られたご夫婦一組のお宅だけになりました。現在、ボランティア団体の訪問はほとんどなくなり、行くと大変喜ばれます。また、交流の広いご夫婦を中心に網目のようにお付き合いがつながっています。

現在の活動は、5月の藤棚カフェのほか、子育て支援センターや就労支援B型作業所「きらり」の訪問を行っています。

藤結びの会の一番のイベントは、活動の中で知り合った方々をお招きして5月中旬に催す「藤棚カフェ」です。会の名前の由来も「藤棚が結ぶ縁」からています。会場は、市内横田地区にある農家のお庭の立派な藤棚をメインとしています。こちらのお宅には活動の最初から宿泊などでお世話になっています。最近はお座敷もお借りできるので、雨天でも心配なく開催できるようになりました。2020年度も開催する予定です。回を重ねるにつれ、人数も増え、グループによっては民謡や踊りなどの自主企画で盛り上がったり、楽しみにしてくださっています。

子育て支援センターの訪問は、利用する親子さんのお楽しみ会をこちらが企画して提案したり、自らも被災者である職員の方たちの応援をしたいと始めましたが、今は先生方の企画したイベントをお手伝いするという「主体は現地」という形になってきています。そういう中でもいろいろなお話を聞きながら、ゆっくりした時間を持っていただけることを心掛けています。

作業所「きらり」は、主に製造している製品を購入して東京で広めるお手伝いをしていますが、時間があれば、お掃除や作業を手伝ったり、抹茶を提供したりもしています。利用者さん方には藤棚カフェを楽しみにされている方も多く、最近では恒例行事として「きらり」の広報誌にも掲載されています。

また、宿泊や藤棚カフェの会場でお世話になっているH農園のゆずを使って、ジャムなどの試供品やレシピを作り、ゆずの販売に協力できないかとこの2年ほど試みています。

9年経って、陸前高田は人口が大幅に減り、市街地再生のためのかさ上げは終わったものの、人が戻らない状態になっています。

そういう中で、微力ですが、陸前高田を応援する活動を続けていきたいと思っています。

活動の様子（写真など）

2019年5月の藤棚カフェ



8月 3か所の子育て支援センター主催の親子お楽しみイベントのお手伝い



12月 ゆず製品作りと、子育て支援センター訪問、津波伝承館見学



※本レポートに掲載された写真はパルシステム東京ホームページ等で公開させていただきます。予めご了承ください。